

都市再生整備計画(第2回変更)

とよた と しん
豊田都心(センターコア)地区

あいちけん とよたし
愛知県 豊田市

平成25年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	豊田市	地区名	豊田都心(センターコア)地区	面積	290	ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 25 年度					

目標

大目標：多核ネットワーク型都市の中心を支える、都心(センターコア)機能の強化

- 目標1：都心機能の強化により、賑わい・回遊性・拠点性の高い中心市街地の形成を図る。
- 目標2：緑あふれる環境形成を共働で推進することにより、質の高い都心形成を図る。
- 目標3：安全・安心機能の強化により、総合的な中心市街地の基盤強化を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

●地区の現状

- 名鉄三河線豊田市駅周辺は、豊田市の前進である挙母町の中心部であり、大正9年の三河鉄道挙母駅(現・名鉄三河線豊田市駅)の開業を契機に駅前通りを中心に商店などが並び始め、商店街を形成してきた地域である。
- 本市はこれまで当該地域を市の中心部として、市街地再開発事業をはじめとする基盤整備などにより都市機能及び行政機能の集約・集積を図ってきた。
- その結果、現在の当該地域には、大型小売店舗を中核とする商業施設、美術館・コンサートホール・能楽堂・産業文化センターや総合体育館といった文化・スポーツ施設、国・県の機関をはじめ市役所本庁・保健所、図書館などといった公共施設などが集積している。
- またその周囲には、サッカースタジアム、文化会館、総合公園などの公共施設が配置されている。

●近年の取組み

- 豊田市はこれまで、昭和60年の「都心総合整備基本計画」、平成12年の「豊田市中心市街地活性化基本計画」による活性化事業として市街地再開発事業を中心とした社会資本整備に積極的に取り組んできた。
- その間、豊田そごう、豊田サティの相次ぐ撤退等による経済的混乱に対応するため、緊急活性化対策及び都市再生整備計画等により、にぎわいの回復に努めてきた。

課題

- 近年の豊田市駅周辺地区(211ha)における都市再生整備計画(平成16~20年度)に基づき、「中心市街地活性化 ~ユニバーサルデザインによる歩行者空間の再構築」を目標とする各種の取組みを行ってきたところであり、駅周辺のデッキ歩行者数や、中心市街地居住者数、駅周辺大型店舗売上高、鉄道駅乗降客数は増加傾向にあり、中心市街地活性化への一定の効果がみられるものの、以下の課題を有しており、さらなる活性化に向けて、有効な施策の実施が必要である。

- 商店街によるファサード整備事業、旧TMO(豊田まちづくり株)のチャレンジショップ事業をはじめとする商業活性化事業の展開を図ってきたが、市外への消費の流出が止まらない状態にあり、店舗の魅力化とともに、各店舗を回遊できる環境を作ることが必要である。
- 市街地再開発事業をはじめ道路や駐車場等の基盤整備を進めてきた結果、中心市街地のアクセス利便性や土地の有効利用の前提となる都市基盤は相当向上したものの、商業、業務、サービスの機能の集積度は小さく、40万都市の中心市街地としてはスケール感や多様性に乏しい。
- 昭和60年以降整備してきた都市基盤も一部更新が必要なものもみられるとともに、景観やユニバーサルデザインといった、これからの社会ニーズに適合した質を重視した公共空間の再構築と基盤づくりが求められる。
- 中央図書館、総合体育館など各種の都市福利施設の集積を推進してきたものの、今後の高齢化の進行や様々な生活志向を望む市民の増大を踏まえ、中心市街地で受け止める都市福利機能の充実を図り、街全体を活性化するための取組みが求められる。
- 人口の中心市街地離れが進行し、昭和40年代の3分の2まで減少しているとともに、若年層の流出により高齢者単身世帯や高齢者夫婦世帯の割合が高いことから、多様な居住ニーズに即した住宅宅地の供給を促し、中心市街地の活性化を支える人口を確保することが課題となる。
- 今後の高齢社会においては、自動車の利用が困難な人も増加してくるから公共交通機関への転換も求められ、公共交通機関によるアクセス性を向上させるとともに、歩行者を中心としたまちづくりが必要である。
- 児ノ口公園・八幡公園等の整備や花を生かしたまちづくりを進めているものの、中心市街地全般で緑が少なく(都心中心部の緑被率は15%、都市計画区域の緑地率は67%)、地域資源(水や緑)を生かしたうおいある空間の面的拡大や、積極的な緑化推進が望まれる。
- 近年防災への関心が高まっており、中心市街地における暮らしやすさ(安全・安心)に留意した取組みの強化が望まれる。

将来ビジョン(中長期)

- 都市機能や生活機能を集積、又は維持集約する拠点と核(都心、産業技術核、拠点地域核、地域核)を、基幹交通(鉄道、路線バス、基幹バスなど)でネットワークすることによる、多核ネットワーク型都市構造の確立を図ります。(第7次豊田市総合計画)
- 豊田市駅及び新豊田駅を中心とする地区は、都心として位置づけ、交通結節機能の強化、まちなか居住の誘導、高次の文化・交流機能や商業・業務機能の誘導など、都市機能の複合化・高度化の促進と併せて、水と緑の活用と創出を進め、市民、企業、来訪者等に魅力的で、環境と調和した活力ある都市空間の形成を図ります。(第7次豊田市総合計画)
- 都市基盤の整備による防災機能の充実など暮らしの安全の確立を図るとともに、子育てや介護などにかかる必要な支援などの自立・支え合いによる安心な暮らしの創出を図ります。(第7次豊田市総合計画)
- 中心市街地は、3つの目標(活力とにぎわいの創出、先進的な交通モデルを体感できる中心市街地の実現、緑に包まれた中心市街地の実現)からなる、将来像「緑の環境都市軸(スタジアムアベニュー)の創出」の実現をめざします。(豊田市中心市街地活性化基本計画)
- 都心周辺を緑化重点地区に位置づけ、市の顔となる緑の拠点整備と緑化推進を図り、緑の増大を図ります。(豊田市緑の基本計画)
- 中心市街地地区を景観重点地区に位置づけ、緑化推進と、市の顔にふさわしい文化的で質の高いまちなみ形成を図ります。(豊田市景観計画)
- 豊田地区(中心部)は、中核拠点として、観光情報発信の充実・強化や、国内外から訪れるビジネス客等の観光客化を図るなど、来訪者の周辺観光地への誘客を図ります。(豊田市観光交流基本計画)

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
歩行者通行量(平日)	人/日	中心市街地内(5地点)の平日の歩行者通行量	拠点施設整備、商業集積、歩行・回遊環境整備により、歩行者の増大と賑わいの増大を図る。	22,578	H19	23,105	H25
鉄道駅1日乗降客数	人/日	豊田市駅および新豊田駅の乗降客数	駅周辺を利用しやすい環境づくりと、賑わい環境整備により、駅・鉄道利用の促進と周辺部回遊などの活性化を図る。	38,638	H19	39,038	H25
センター施設利用者数	人/月	地域交流センター・中央福祉センター利用者数	福祉拠点・地域交流拠点施設の整備により、都心における交流人口の増大を図る。	5,700	H20	10,000	H25
満足度	—	中心市街地活性化に対する満足度	駅周辺を利用しやすい環境づくりと、賑わい環境整備等各種事業の推進により、センターコア地区における中心市街地の活性化(満足度)の向上を図る。	-0.42	H19	-0.32	H25

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針① 総合的な都心機能の強化による賑わい・交流・安心環境の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民ニーズの高度化・多様化に対応した、拠点的な交流センター空間の整備(市民交流、多世代交流、情報発信、郷土学習等)により、活力あふれる中心市街地の形成を図る。 ●少子高齢化社会における都心機能の強化を図るため、福祉拠点施設および子育て・健康支援施設の整備充実を図る。 ●都心・中心市街地におけるバスサービスの維持増進を図り、賑わいを支える都市基盤の充実と移動しやすい環境形成を図る。 ●安永川の流下能力の強化を図る河川改修事業(トンネル事業)を進め、災害に強い中心市街地形成を図る。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流センター整備 <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央福祉センター整備 <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)豊田市文化交流センター整備事業 ・中央保健センター整備事業 ・豊田市ふるさと歴史館整備事業 ・安永川流域水辺環境整備事業 ・中心市街地バス事業
<p>整備方針② 駅を中心とする賑わいと魅力あふれる回遊環境の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●豊田市駅の利用しやすい環境づくり(駅舎耐震化、バリアフリー化、動線強化、高架下のリニューアル)、駅周辺における歩行・回遊環境の魅力強化、および主要幹線道路の無電柱化により、駅を中心とする賑わい回遊環境の強化を図る。 ●市街地整備と高度利用の促進、高架下のリニューアル等により、都市機能の充実を図り、中心市街地における賑わい強化を図る。 ●冬の魅力創造事業や多彩な特色あるイベントの拡充・活性化など、中心部の活性化を図る特色ある周辺交流イベント事業について、継続的な実施と魅力の強化を図る。 ●まちなか宣伝事業や空き店舗対策等により来街を促進するとともに、まちづくり活動支援事業を通して市民と共働で魅力あふれるまちづくりを進める。 ●まちづくり事業活用調査の実施や都市交通システムの整備により、中心市街地としての交通拠点機能の向上を図る。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道蔵前陣中線の無電柱化および高質空間整備 ・(都)豊田則定線の無電柱化および高質空間整備 <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動支援事業(ワークショップ支援等) ・まちなか宣伝事業 <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮)名鉄豊田市駅総合整備事業 ・国道155号歩道整備検討事業 ・老舗街道・竹生線通りの活性化(店舗改築、空き店舗対策等) ・(仮)豊田市駅前通り北地区市街地整備事業 ・都市交通システム整備事業 ・冬の魅力創造事業
<p>整備方針③ 共働で推進する、緑あふれる高質な都心の環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ●毘森公園の整備などにより、中心市街地における水や緑を生かしたうおいある環境形成を図り、定住環境としての魅力強化を図る。 ●中央保健センター整備と併せて、中心市街地における公共施設の重点的かつ高質な緑地・緑化環境の整備推進を図る。 ●共働の取組みを推進し、緑化推進の機運と関心を高めていくため、駅周辺地区や路地的生活空間における創意工夫あふれる緑化推進を図る。 	<p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央保健センター環境整備事業(高質な緑環境の整備、屋上等緑化等) ・駅周辺緑化推進事業 <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毘森公園整備事業
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 ・H14年に発足した、豊田まちづくり(株)(旧TMO)などと共働で、計画策定、事業推進、イベント、コーディネート活動など継続的にまちづくり活動を進める。 ・まちづくり協議会等によるまちづくり活動を継続するとともに、行政と住民のパートナーシップを継続し、まちづくり活動を行っていく。 ○交付期間中の計画の管理について ・各種事業は、HPにより広く市民に周知する。 ・また、中間評価・モニタリングなどを実施し事業の進捗状況や成果を把握し、事業の円滑な執行を管理する。 	

都市再生整備計画の区域

<p>豊田都心(センターコア)地区(愛知県豊田市)</p>	<p>面積 290 ha</p>	<p>区域 喜多町、久保町、小坂町、小坂本町、拳母町、昭和町、陣中町、神明町、月見町、常盤町、十塚町、日之出町、平芝町、広路町、元城町、神田町、栄町、桜町、竹生町、錦町、西町、日南町、八幡町、松ヶ枝町、元宮町、若宮町の一部</p>
-------------------------------	------------------	---

